



2009年 第22号

ぞうえん山梨



平成20年7月14日、「樹上作業者の墜落防止講習会」(会場:山梨県緑化センター)で、講師の樹上作業の実演を見学する当協会の受講生。この方法によると、樹上作業での安全性が極めて高く、街路樹剪定には最適とのこと。

■ごあいさつ	2頁
■協会の動き	3~5頁
■組合の動き	5頁
■青年部の活動	6頁

■山梨緑化センター	7頁
■平成20年度組合自主事業	8頁
■協会員・組合員めぐり・新入会員紹介	9頁
■表彰等	10~11頁
■会員名簿	12頁

(社)山梨県造園建設業協会・山梨県造園建設業協同組合

E-mail ● info@zouenkyo.ecnet.jp
U R L ● http://www.zouenkyo.ecnet.jp

E-mail ● kumiai@zouenkyo.ecnet.jp

米国に端を発した金融・経済不安は、今や世界同時不況という様相を呈してきており、我が国経済も後退局面を余儀なくさせられるなど、先行き不透明で、予断を許さない状況となっております。

こうした厳しい経済環境に加え、我々造園建設業界にとってより深刻な影響を与えているのは、ここ数年続いている公共工事の減少であり、一般競争入札の導入であります。

また、指定管理者制度の導入も、時代の要請とも言える制度ではありますが、我々造園業者には少なからぬ影響を与えております。さらに、これまで造園工事として分離発注されていたものが、土木一般・建築外構としてまとめられてしまうという分離発注の減少傾向、これも看過できないものとなっております。

このように我々造園建設業者は、かつて経験しなかったような厳しい状況に置かれています。しかし、それを嘆いていても問題は解決しません。むしろこういう時こそ前向きな姿勢が必要であります。

さて、ご存知のとおり我が協会では総務、技術、事業、企画の四つの委員会を設け、委員会が中心となって様々な活動を展開しております。そうした活動の一つに「社会奉仕活動」があります。平成18年度、19年度は、保育園や幼稚園の園庭の芝生化を実施しました。我々は、園庭や校庭の芝生化が推進されることを期待しながら、芝生化の奉仕活動を行っていますが、まだまだ地域の方々や行政関係者の理解を十分に得るまで

山梨県造園建設業協会 会長 埴原 喜久男

には至っておりません。しかし、11月11日に開催されました「知事と山梨県建設産業団体連合会との意見交換会」において、横内正明知事は校庭の芝生化に強い関心を示されました。これで校庭の芝生化が進むという簡単な話ではないのですが、知事が芝生化に対して心をとめられたことは、我々の活動が一つの成果をあげたとも言えるでしょう。

12月1日からは、新しい公益法人制度が施行されました。これにより我々の協会はこれから五年の間に、公益社団法人と一般社団法人のどちらに移行するかを決めなければなりません。どちらに進むのが我々にとってメリットがあるのか十分に検討を進めながら、その選択を間違いないものにして参りたいと考えております。

こうした制度改革も含め、取り巻く環境は大きく変わろうとしており、問題も山積しておりますが、私は、歴代会長や先輩諸兄が残された「造園会館」をよりどころとしながら会員の皆様と手を携え、この業界の経済的基盤の安定と成長に向け一層の努力を傾けて参る所存であります。皆様のさらなるご協力、ご支援をお願い申し上げます、あいさつと致します。



山梨県造園建設業協同組合 理事長 河野 富重

ぞうえん山梨第22号の発刊にあたりご挨拶を申し上げます。

当組合の運営につきましては、日頃から、組合員をはじめ県や関係機関、諸団体の皆様には多大なご支援ご協力を賜り心から御礼申し上げます。建設業を取り巻く環境が依然厳しく、当組合としても、平成15年度には官公需適格組合の証明取得し、公共事業への積極的な参入拡大を図り、事業の確保に努力して参りましたが、いまだに展望が開けない状況が続いております。

一方では、地球温暖化やヒートアイランド現象の防止など緑の持つ多様な機能に社会が寄せる期待が高まってきております。当組合及び組合員の皆様には、緑に関する長年培った経験・知識・技術という貴重な財産を有しております。組合、組合員の英知とネットワークを生かし、また、山梨県造園建設業協会とも協働しながら、社会に働きかけて新たなマーケットを開拓し、併せて社会の要請に応えるべく取り組みを鋭意努力して参る所存でございます。

平成18年度からの山梨県緑化センターの指定管理者は本年度で最終年度となります。この3年間、県民の緑づくりの拠点として管理運営業務を任せられ、良い評価をいただき実績を上げることが出来ました。緑化センター職員皆様のご努力、県のご指導及び関係団体や組合員のご支援ご協力で厚く御礼申し上げます。来年度からの5カ年についても、引き続き指定管理者に指定されました。新しい社会のニーズに応じた施設の管理運営や緑環境教育などの拡充を図り、県民の緑化推進に一層の貢献を図りたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご健勝、ご発展を祈念するとともに、今後とも、組合や緑化センターの運営にご支援ご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。



協会の動き

平成20年度 通常総会(予算総会)開催

平成20年3月27日(木)午後3時から、当協会会議室に於いて、出席会員35名、うち本人出席23名、委任状による代理出席7名、表決会員5名を得て平成20年度通常総会(予算総会)が開催された。帯金岩夫理事の開会宣言の後、斉藤陽一副会長の開会のことは、埴原喜久男会長の挨拶があり、ここで前サンリツ造園土木代表取締役土屋潤一氏が、新会員になったことが紹介された。

その後、内田正文理事が議長に選任され直ちに審議に入り、第1号議案 平成20年度事業計画案、第2号議案 平成20年度収入・支出予算案を一括審議することとし、事務局説明の後、質疑に入ったが異議なしとして満場一致で可決承認された。次いで第3号議案 監事の選任についてが審議され、岩田俊彦氏が選出された。



平成20年度 第32回通常総会(決算総会)開催



平成20年5月30日(金)午後3時から、当協会会議室に於いて、出席会員34名、うち本人出席27名、委任状による代理出席者4名、表決会員3名を得て平成20年度第32回通常総会(決算総会)が開催された。小林稔蔵理事が司会を務め、埴原喜久男会長の挨拶に続き、協会表彰規定に基づき造園功労者3名(井上健司氏、坂井龍氏、角野勝氏)に会長から表彰状が贈呈された。

来賓の山梨県議会議員高野剛様から祝辞を頂いた後、内田正文理事を議長に選任し直ちに議事に入った。第1号議案 平成19年度会務報告、第2号議案平成18年度収入・支出決算は一括審議とし、事務局説明のあと岩田俊彦監事より「適正に執行されている」旨の報告がなされ、満場一致可決承認された。続いて第3号議案総会議決事項の委任についてが提案されたが異議なく承認された。

街路樹剪定士認定試験及び更新研修会を実施

当協会では、㈲日本造園建設業協会山梨県支部と協力して、街路樹剪定士の認定試験と有効期限満了に伴う更新研修会を実施した。

街路樹剪定士の認定試験は、平成20年2月19日、20日の二日間に亘って行われ、一日目は山梨県造園建設業会館において学科試験が、二日目は小瀬スポーツ公園において実技試験が実施された。今回の試験には、県内から13名が受験したが、実技試験では制限時間内にイチョウとシラカシの2本の木を剪定し、作業の安全性や技術力など18項目について採点した。後日、㈲日本造園建設業協会から、13名全員の合格通知書が届いた。

また、平成20年8月20日には、有効期限の満了に伴う街路樹剪定士更新研修会を、山梨県造園建設業会館において実施したが、52名の方が受講し全員が無事資格更新した。



都市緑化フェアを視察研修

平成20年5月14日、15日の両日、群馬県で開催された「第25回全国都市緑化フェア 花と緑のシンフォニー くま2008」への視察研修を実施した。このフェアは総合会場とサテライト会場とで構成されており、前橋会場と高崎会場を総合会場とし、伊勢崎会場や太田会場、さらに各市町村や各種団体の会場をサテライト会場と位置づけて開催された。視察研修への参加者は30名で、前橋会場と高崎会場の二会場の視察研修となった。当日は、日造協群馬県支部の方々や、都市緑化フェアの事務局の方から懇切丁寧な説明があり、大きな研修成果を収めることができた。

前橋会場の「自然の記憶ゾーン」には、全国各自治体がそれぞれの象徴となるものを花と緑で作成した「全国自治体花壇 にはほん花景色」と称した花壇があり、本県からは「日本のシンボル富士山」というタイトルの花壇が出品され、銀賞を受賞していた。会員からは、「本県でも都市緑化フェアを開催したい」という声が上がっていた。



山梨県出品「日本のシンボル富士山」の前で

河川清掃作業

山梨県では毎年7月を「川に親しみ水辺にふれあう運動」推進強調月間と定め、河川美化等を実施している。

本年も中北建設事務所、峡東建設事務所、富士・東部建設事務所吉田支所の各管内において、河川の除草、清掃作業が行われ当協会員も参加協力した。

○中北建設事務所 平成20年7月2日(水) 場所：甲府市荒川 千秋橋下流 22社 22名参加

○富士・東部建設事務所吉田支所 平成20年7月3日(木) 場所：富士河口湖町河口地内寺川及び山の神川 4社 8名参加

○峡東建設事務所 平成20年7月14日(月) 場所：重川右岸河川公園前 5社 6名参加

関東甲信造園建設業協会協議会来年度は、本県で開催!

平成20年10月23日(木)、千葉県柏市「三井ガーデンホテル柏」において、平成20年度 関東甲信造園建設業協会協議会が、千葉県の当番で開催された。本県からは埴原会長、内田理事(総務委員長)、深澤専務理事が出席した。

各県から提案された議題の中から、「公益法人制度について(神奈川県、埼玉県、山梨県の提案)」と「街路樹の管理等について(東京都、栃木県、長野県の提案)」の二つを協議議題として活発な話し合いが行われた。

公益法人制度に関しては法律の改正に伴い、平成20年12月1日から5年以内に公益社団法人か一般社団法人に移行しなければならないが、当協会としてもこれへの取り組みが必要となる。来年の開催当番県は山梨県と決定し閉会した。

全国造園フェスティバル2008事業に参加

日造協主催の「全国造園フェスティバル2008事業」が全国各地で開催されたが、本協会では10月25日(土)、26日(日)の両日、山梨県緑化センターで開催された「緑の感謝祭」に山梨県造園建設事業組合に協力する形で参加する一方、同会場にコーナーを設けて啓発普及のチラシや花の種の配布などを行った。



横内知事と意見交換会

知事は、「校庭の芝生化」に関心を示されました

「知事と(社)山梨県建設産業団体連合会(専門工事業者団体・資材関係業者団体・設計コンサルタント団体代表者等)との意見交換会」が、平成20年11月11日(火)、ベルクラシック甲府において開催された。

この会には横内正明知事をはじめ森林環境、農政、県土整備の公共事業の3部の幹部職員も出席し、横内知事が進行役となって意見交換を行った。

当協会からは埴原会長、齊藤副会長、深澤専務、造園建設業協同組合からは小林副理事長が出席し、「校庭の芝生化を進めてほしい」旨の意見や、「造園工事を増やしてほしい」「分離発注をしてほしい」と言った意見を述べた。知事は校庭の芝生化に関心を示し、どの程度予算がかかるのか把握した上で検討していきたいと回答した。また、この会では災害協定の話題も出たが、県土整備部の回答では「造園協会からも災害協定締結の要請がある」と答えるなど、県は当協会の意向をきちんと承知しており、今後これに関する動きがあるものと思われる。

平成20年度「08やまなし住宅フェア」



平成20年11月15日(土)、16日(日)の二日間にわたって、小瀬スポーツ公園(甲府市)を会場に、「08やまなし住宅フェア(主催:山梨ゆとりある住生活推進協議会)」が開催され、当協会もこれに参加した。このフェアは「県民の日」の記念行事の一環として行われたもので、当協会では、ミニガーデン(ベランダガーデン)を出品し、これをオークションにかけた。このミニガーデンは、第6回日比谷公園ガーデニングショーに造園協同組合青年部が出品したもので、来客者の関心を誘っていた。中には何回も足を運んだり、家族連れでもう一度訪れる人もいたりしたが落札するには至らなかった。

樹上作業者の墜落防止講習会を開催

平成21年2月には、技術委員会が中心になり緑化センターにおいて、「樹上作業者の墜落防止講習会」を開催することになっている。これに先立ち、7月14日には、安田邦男氏を講師に、デモンストレーションを兼ねたミニ講習会を、緑化センターで開催したが、参加者は安全木登りベストを使った実地講習を熱心に受講した。

この安全木登りベストを使った方法には、次のような長所があり、樹上での安全度が極めて高いという。

- 多段に安全確保点を設けるのでまさかの時のバックアップができる。
- 墜落しないための安全確保が一人で行える。
- 枝が折れても作業者が落ちる心配がない。
- 樹上で両手が使える等々。



組合の動き

平成20年度 第22回通常総会開催

平成20年5月30日(金)午後4時から当造園建設業会館において開催された。

司会者・依田 忠理事が開会を宣し、河野富重理事長の挨拶に続き、来賓の山梨県みどり自然課 望月洋一課長及び山梨県中小企業団体中央会会長代理 知見寺好幸連携支援課長からそれぞれご祝辞をいただいた後、議長に小林 洋副理事長が選任され審議に入った。

第1号議案 平成19年度事業報告・取支決算承認の件

事務局の説明の後、名取 満監事が監査報告を行い、これを議場に諮ったところ可決承認された。

第2号議案 平成20年度事業計画・取支予算決定の件

第3号議案 定款変更の件

第2号議案及び第3号議案とも事務局の説明の後、これを議場に諮ったところ可決決定された。

第4号議案 任期満了に伴う役員改選の件

事務局の説明の後、指名推選することになり、選考委員により新役員が推選された。これを議場に諮ったところ全員当選人として決定した。

<新理事>和泉川波/今井正行/今村三紀男/内田正文/河野富重
小林 洋/須田良英/埴原喜久男/三井兵部/依田 忠

<新監事>荻野あさ子/名取 満

第5号議案 総会議決事項委任の件

事務局の説明の後、これを議場に諮ったところ可決決定された。

第6号議案 その他については、意見等はなかった。

午後5時議案審議を終了し、閉会した。

引続き理事会が開催され、理事長、副理事長、専務理事が選任された。
理事長/河野富重 副理事長/小林 洋 専務理事/和泉川波



青年部の活動

事後審査型一般競争入札の講習会

実施日：平成20年9月25日 14:00～16:00
場所：山梨県造園建設業会館2階会議室
講師：山梨県土木部技術管理室 山田様
参加人数：40名
建設業を取り巻く環境が変化している中、公共機関が発注する工事も電子入札や指名競争入札から一

般競争入札へ変化しており、それに対応するため、今回、事後審査型一般競争入札電子入札の講習会を「山梨県土木部技術管理室 山田様」をお招きして山梨県造園建設業協会総務委員会との協同により開催した。講習後の質疑応答の時間も多くの質問があり、有意義な講習会であった。

やまなしクリーンキャンペーンへの参加

実施日：平成19年7月30日 AM7:00～AM8:30
参加人数：県職員3名 青年部7名
活動場所：甲府駅北口・南口周辺
使用資材：やまなしクリーンキャンペーンチラシ・花の種・のぼり旗・ゴミ袋
参加者：山梨県森林環境部循環型社会推進課再資源化担当/伊藤副主幹・若野主任・渡邊技師3名
山梨県造園建設業協会・協同組合青年部7名
活動内容：甲府駅北口及び南口にてチラシ(県製作)と花の種3,000袋(青年部準備)を駅利用者に配布しました。



作業終了後全員で
▼記念撮影

▲当日配布したパンフレットと花の種

第6回日比谷公園 ガーデニングショー2008への参加

実施日：製作 平成20年10月20日～10月26日
展示期間 平成20年10月25日～11月2日
参加人数：青年部32名
活動場所：東京都 日比谷公園
活動内容：私たちは、快適な環境づくりに不可欠な「みどり」を生業にしています。「みどり」は将来ますます大切なものになり、私たちへの期待もさらに高まることは間違いありません。それはまた私たちの責任が重くなることでもあります。
価値観が多様化する中、私たちは研鑽を積み、様々なニーズに対応できるようにしなければなりません。「第6回日比谷公園ガーデニングショー」は、まさにそんな思いでチャレンジする場所でした。「都会のNIWA」をテーマに2作品を出展しました。

日比谷公園ガーデニングショー2008には4部門があり、その中で幅4.0m、奥行き1.5mのベランダガーデン部門に参加してみました。当地に赴き作庭するには、イメージ図を提出しその一次審査を通過するところから始まります。そこで、部員よりデザイン画を募集しその中で2点の作品を一次審査に提出したところ、その2作品が見事に通過し作庭することになりました。製作は現地から造るのではなく県内で大まかに造り現地にて組み立てるという手法で行って来ました。

この美しい日本を「みどり」を未来へ引き継いでいくために、また快適な空間を皆様に提供していくために青年部員が団結しその技術力を結集して作庭してきました。

作品1 「paysage de japon」



「paysage de japon」フランス語で「Landscape of Japan」を意味する言葉です。

都心にある一室の窓からみえる「近代的な風景」に、癒しやすらぎを与える「和の景色」を調和させたベランダを造ってみたいという思いから設計しました。欧州の庭園によくみられる左右対称(シンメトリー)でのレイアウトをベースに、「和の素材」から「近代的な素材」までを積極的に使用し、「和と洋の文化」、「近代と伝統」を分け隔て無く取り入れた、東京の夜景が似合う新しいタイプのベランダガーデン。それが私の提案する都会の庭です。

作品2 「流木のNIWA」



【都会のNIWA】このテーマから、漠然と、和でも洋でもない庭を造ってみたいの思いから設計しました。設計するにあたって、重量のある材料を少なく、曲線的なものを多くと、考えていたので木材、流木を使った庭のイメージが出来てきました。背面の流木は夏場コンクリートの反射熱防止と、無機質な壁を隠す役割を持たしています。植物は、成長が遅く背丈が低いものをメインにし、ベランダでも管理しやすいようにしました。ベランダという、限られた空間を、やすらぎとやわらかさを持たし、また植物を愛でるといふ楽しみを、実感してほしいと考えて設計してみました。

平成20年度山梨県緑化センター主催事業

平成18年4月1日から、山梨県緑化センターを指定管理者として山梨県造園建設業協同組合が管理運営を行い3年目を終えようとしています。

来園者数も当初の目標に対して70%増しとなる34,000人(19年度実績)と増加し多大な成果を上げています。これらの成果も認められ平成21年度以降5年間、県より指定管理者として管理運営業務を任せられることとなりました。当センターでは、今後も緑化に関する知識の普及及び緑化推進活動を促進するために数々の情報を発信していくよう邁進していきたいと考えております。

多数の皆様のご来園ご利用をお待ちしております。



樹木観察会風景

●●●●緑の教室●●●●

身近な緑に親しんでいただき、緑について関心を深めてゆくとともに、緑を育てる知識を身につけていただくための教室です。「緑の教室」は、「庭木の手入れ」「松」「防寒対策」「病虫害」「盆栽」「ハーブ」「バラ」「洋蘭」等種々多様なカリキュラムを組み年間24回開催し、1,000人の受講者を見込んでいます。

講師陣には組合関係者も延べ10名含まれており、組合と協力して盛り上げております。

この教室で学んだ知識・技術を、生活の中に生かし、緑化思想の高揚に繋がることを期待しています。

●●●●親子緑の集い●●●●

森からの恵み(森林資源の有効利用)による工作の学習等、親子のふれあいの場を提供し、緑への親しみを深めるため、みどりの募金を運営費として4回実施されました。

第1回目は「山梨県の木を使った木工作」と題し山梨県産ヒノキを使ってCDラックを作りました。第2回目は木の枝や木の実を使って天井から吊るすミニチュアダックスフンドのモビールを作りました。第3回は緑化センター内のクヌギの木でツリークライミングを体験しました。第4回はタペストリー型のクリスマスリースを作りました。

申し込み開始日の午前中で定員に達するほどの盛況ぶりです。全4回で親子174組470名が参加しました。



●●●●子ども樹木博士●●●●

子ども達が森林の中で樹木に触れて名前や特性を知ることを通じて森林や自然に関心を深めること、さらには子どもと親とのふれあいの場を提供することを目的に開催しました。

山梨県緑化センター、河口湖フィールドセンターに於いて2回実施されました。

親子で樹木の名前、特徴を学び最後にテストを行い、成績によって10級から4段までの「樹木博士認定書」が授与されます。

平成20年度は19名の子どもたちが樹木博士となりました。

●●●●緑サポーター養成研修●●●●

緑化に関心の高い県民を対象に、地域内の緑化の推進、樹木の診断を行なう者を養成するため緑サポーター養成研修を実施しています。研修修了者には終了証書が授与されるとともに、財団法人日本緑化センターに登録すると「緑サポーター」の称号が与えられます。

平成20年度は23名が緑サポーター登録しました。11月には、「やまなし緑サポーター会」も設立され、緑普及のための積極的な活動が展開されようとしています。

平成20年度組合自主事業

山梨県造園建設業協同組合では様々な自主事業を展開する中で、緑化センターの知名度と集客力を高めていき、指定管理者となった成果を上げていくため多彩な企画を立案し実行しております。今後とも広く県民の皆様のご協力、ご参加をお願い致します。

●●●山梨グリーンフェア●●●

4月26日から27日まで山梨グリーンフェアを開催した。植木市には組合加盟35社が参加。樹木・草花・鉢物・園芸資材・野菜苗等の販売を行った。同時開催として「お茶会」も開催され、甲斐市文化協会による野点が行われ、組合事務局中村麗子さんが代表を務める中村麗声社中の奏でる琴の音色の中で子どもからお年寄りまでお茶を楽しんだ。2日間で6,000人を超える来園者を集め、今後も一大イベントとしての定着化を図っていきたい。



●●●初夏を彩る展示会●●●

5月31日から6月15日までの各々週末3日間を使って「バラ展」「山野草展」「盆栽・ウチョウラン展」を開催し、2,000人が来場した。「バラ展」はローズアドバイザー後藤みどりさんが四季咲きローズ300鉢の展示とガーデンテラスのアレンジメントを行った。「山野草展」は甲州市文化協会山野草小物盆栽部がアジサイ等200鉢を展示。「盆栽・ウチョウラン展」では甲斐市文化協会盆栽部が樹齢100年の松等30鉢、昇仙峡山草会がウチョウラン100鉢を展示した。訪れた人は手塩にかけた作品に見入っていた。



●●●みどりの写真コンテスト●●●

8月「みどりの写真コンテスト」を開催。「樹木」「私の好きな庭」「風景」の3部門で作品を募集した。銘木、奇木、花、印象に残る庭、山梨の豊かな自然を繊細な感性で捉えた優秀な作品等、多数の応募があった。今回で3回目の実施となったが、応募点数も年々増加している。

8月22日若林賢明先生を審査委員長として、みどり自然課長にも参加して頂き審査を行ない、各部門の知事賞、優秀賞が決定され同月29日から31日まで作品展示会を開催し、受賞作品は緑化センターに通年展示されている。



●●●緑の感謝祭●●●

10月25日から26日まで緑の感謝祭を開催した。組合員により樹木、花、園芸資材、農産物等の販売を行った。

恒例の「もちつき大会」も行われ、子どもたちの人気を集めた。同時開催として「全国造園フェスティバル2008」「ポニー乗馬体験」「子ども工作教室」「山野草と実もの盆栽展」「洋蘭展」「JAZZコンサート」等も開催され、県内各地から多数の人が来園した。



●●●ミニガーデンコンテスト●●●

9月、一般公募の中から優秀作品5点(南敷島緑化土木、棟津々美造園、河野造園土木株、富士観光開発株、富士急建設株)を緑化センター内に製作した。10月26日審査の上、最優秀賞に南敷島緑化土木の「家族と過ごす庭」が選ばれた。

展示は11月末まで行われ、多くの人が自宅の庭の参考にと訪れた。



●●●洋蘭展 平成21年1月15日から18日まで開催予定。

●●●その他研修会

市町村林務関係、小中学校等の依頼により樹木医を講師として派遣した。またシルバー人材センターや各地婦人会の依頼により「寄せ植え研修会」等を緑化センターで実施した。

協会員・組合員めぐり

辻緑化土木 株式会社

代表取締役 辻 宏三

所在地 甲府市朝気三丁目3-16

昭和3年創業、現在の所在地山梨県甲府市朝気に先代辻孝之により辻園芸場開業し昭和41年現在の代表取締役辻宏三が事業を継承、昭和52年、組織変更し辻緑化土木株式会社を設立現在に至ります。

「人と緑のふれあいを求めて」、造園設計施工を営んでおります。お客様の夢を形に、より楽しめる空間をご提案、お客様に応じて様々な提案をしてお手伝いを致します。造園工事の伝統的な工法を守りつつ現在の多様なニーズに対応出来るよう日々努力しております。なる品質と技術の向上を目指し、社員一同日々取組んでおります。



有限会社 敷島緑化土木

代表取締役 石水 理恵

所在地 甲斐市鳥上条1664

当社は、昭和45年に先代(義父・秀雄)により創業されました。

このころは、現在とは異なり常に施主と顔つき合わせながら相談し、じっくりと庭造りを吟味し、庭木の中に人が生活スペースを置いていた時代だったと言います。

植木の状態がおかしいと言えば駆けつけ、通りがければ様子を見るなど、植木屋さんとは、愛されたものだったそうです。

しかし現在、各種建設などによる住宅の移転、核家族化、増改築や車両スペースの拡大など、個人のお客様においても、まず住居があってその周りにグリーンをと言うようなニーズが増えてきたように思います。

私共の課題も時代に即したグリーンスペースの提供を熟慮して行かねばなりません。

今、日本は厳しい情勢でもあります。しかし、こんな時こそ人の心を豊かに動かせるのも「緑」です。私共は、微力ながらも、変わりゆく環境に対応していける都市緑化活動に関わって行くことに意欲を燃やしています。



新入会員紹介



有限会社 サンリツ造園土木

代表取締役 土屋 周一

所在地 中央市若宮18-6-106

今回皆様方のお引き立てにより造園建設業協会ならびに造園組合に加入できた事を心より感謝申し上げます。

社会貢献という見地からも企業として、一段階大人に成長し

たようで、うれしくもあり誇りに思っております。

当社は、創業20年に満たない新しい会社ですが、発足時より土木・建築・設備・外構など他業種も手がける機会も多く、その中へ造園的なイメージや香りを何とか注入してきました。造園工事においてもその逆で、他業種の材料や工法を取り入れ、全体として違和感のない「ものづくり」にこだわって施工してきました。今後ともこの姿勢を生かしつつ、お客様・あるいは社会環境に向けて、幅広い造園というメッセージを発信し続けていきたいと考えています。そのために今後も皆様より更なる広い視野からのご指導をよろしくお願いいたします。

協 会

●造園建設功労賞

(社)日本造園建設業協会

当協会長埴原喜久男氏は、平成20年6月24日(火)、ホテルルポール廻町において開催された平成20年度(社)日本造園建設業協会通常総会において、造園建設功労賞を受けられた。氏は、大学を卒業以来30有余年の長きに亘り造園業一筋に携わっており、山梨化工産業㈱(現㈱アセラ)の造園部長、取締役を経て、平成14年には㈱アセラグリーンの代表取締役就任し現在に至っている。平成11年からは当協会の理事を務め、平成17年には当協会の会長に就任し、現在に至っている。技術力の優秀さはもとより、頭脳明晰で行動力ある氏の活躍は、業界の内外からも評価され信望も篤い。氏の功績は、当協会の発展だけに留まるものでなく、本県造園建設業界に果たした役割も大きく、その顕著な実績が評価されたものである。

埴原 喜久男 氏
㈱アセラグリーン



●(社)日本造園建設業協会会長賞

(業績表彰)

当協会理事・事業委員会委員長石原政人氏は、平成20年6月24日(火)、ホテルルポール廻町において開催された平成20年度(社)日本造園建設業協会通常総会において、会長賞(業績表彰)を受けられた。氏は、大学を卒業以来一貫して造園業に携わってきており、平成12年からは株式会社石原グリーン建設代表取締役就任し現在に至っている。氏は、平成12年からは当協会の広報委員として活躍したが、平成19年度には事業委員長となり、住宅フェアへの出展をはじめとする様々な事業を実施している。本業を通して、また協会活動を通して造園業界の発展に尽くした業績は大きく、それが認められて受賞となったものである。

石原 政人 氏
㈱石原グリーン建設



●山梨県 環境緑化功労賞

小林 稔蔵 氏
㈱雲松園

平成20年度山梨県林業まつり(山梨県林業まつり実行委員会(会長・横内正明)主催)が開催され、平成20年10月10日(金)には恩賜林記念館大会議室において記念式典が催されたが、この席で当協会理事小林稔蔵氏は、森林・林業関係功労賞(環境緑化部門)を受賞した。氏は1級造園技能士、1級造園施工管理士、樹木医等の資格を有し、これまで数多くの造園工事を施工してきたが、その一方で名木と呼ばれる樹木の樹勢回復なども手がけてきた。さらに、街路樹剪定士の指導員や技能検定員などを通じて後進の育成にも努めるなどしており、こうした活動が本県の緑化推進に貢献したと認められたものである。



●建設雇用改善優良事業所

(知事表彰)

河野造園土木㈱
(代表取締役 河野富重)

平成20年度山梨県建設雇用改善推進大会が平成20年11月19日(水)、アビオウエディングプラザ甲府で開催され、この席上河野造園土木㈱は、建設雇用改善優良事業所として山梨県知事表彰を受けた。当社は、建設労働者の雇用について積極的に活動し、その成果が優良であると認められたものである。表彰式では建設雇用改善優良事業所表彰のほか、勤労者退職金共済機構表彰、建設産業人材確保・育成推進協議会作文コンクール表彰も行われたが、これら被表彰者18名を代表して、河野造園土木㈱代表取締役河野富重氏が謝辞を述べた。



被表彰者を代表して
謝辞を述べる河野氏

●造園事業功労者

平成20年5月30日(金)、当協会会議室に於いて

表 彰 等

開催された平成20年度通常総会の席上、下記3氏が垣原会長から「造園事業功労者」として表彰された。各氏とも、それぞれの会社において造園事業に携わっているが、その功績が顕著であり他の模範であるとして表彰された。

井上 健司氏 坂井 龍氏 角野 勝氏
甲南緑化株式会社 株式会社石原グリーン建設 株式会社明桃園



組 合

褒 章

●黄綬褒章

平成20年秋の褒章で、黄綬褒章を受けられた。

氏は、昭和49年明桃園を引き継いで造園に携わり、昭和61年に山梨県造園建設業協同組合に加入、平成19年に副理事長に就任した。

この間、建築やデザイン、気象など幅広い知識を取り入れ、誰もが憩いと安らぎを感じられる公園や庭づくりに励むとともに、組合役員及び県職業訓練指導員として、造園講習会の講師となり後進の育成などに勤められた。

平成8年「やまなしの名工(県知事表彰)」、平成10年「環境緑化功労賞(県知事表彰)」、平成11年「現代の名工(労働大臣表彰)」を受けられている。このたび、卓越した造園技術は他の模範となるものであり、長年に渡り造園業務に精励した功績が認められ受賞された。

小林 洋氏
株式会社明桃園



●感謝状

山梨県造園建設業協同組合

平成20年11月2日(日) 東京ガーデンジュエリ

ー2008「日比谷公園ガーデニングショー2008」のガーデニングコンテストに出展・協力したことに対し、実行委員長より感謝状が贈呈された。

●山梨県技能者表彰 (山梨の名工)

平成20年11月26日(水) 山梨県中小企業人材開発センターにおいて、狭い空間を広く、奥行きのある仕上げる日本庭園作庭技術及び街路樹剪定士指導員の資格を有するなどの造園技術が、卓越した技能者として認められ、やまなしの名工として表彰を受けられた。

清水 文一氏
株式会社清水造園



●山梨県中小企業団体中央会表彰

平成20年5月26日(月) アピオウエディングプラザ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成20年度通常総会において、長年にわたり、県職業訓練指導員として活躍され、また、県シルバー人材センター連合会造園講習会講師を勤められ、後進の指導及び高齢者の雇用に貢献されたことに対し、組合功労者として表彰を受けられた。

小林 洋氏
株式会社明桃園



●山梨県中小企業団体中央会表彰

平成20年5月26日(月) アピオウエディングプラザ甲府で開催された山梨県中小企業団体中央会平成20年度通常総会において、当組合青年部理事として、県下の主要街路の樹種マップ作成及び山梨県緑化センター指定管理者自主事業「山梨グリーンフェア」「収穫祭」業務責任者としての業績が認められ、青年部功労者として表彰を受けられた。

依田 忠氏
山梨ガーデン株式会社



会 員 名 簿

(50音順)

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
株アセラグリーン	埴原喜久男	甲府市蓬沢町1171	(055) 233-4617 (055) 233-4633	green@acora-jp.com http://www.acragreen.com
株両宮造園	両宮 憲二	甲州市塩山千野1210	(0553) 33-4048 (0553) 33-8039	amemiya@deluxe.ocn.ne.jp
株石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町269	(055) 241-2001 (055) 241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
株石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島378	(055) 263-2070 (055) 262-4889	isawa@mbd.nifty.com
(有)今井ガーデン	今井 正行	甲府市里吉一丁目6-24	(055) 237-0027 (055) 226-8788	garden-imai.yugen@abelia.ocn.ne.jp
株雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町3630	(0551) 36-2432 (0551) 36-4128	unshouen@nns.ne.jp http://www.unshouen.co.jp
株帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目11-12	(055) 251-4128 (055) 251-4194	zouen@obikane.ecnet.jp http://www.obikane.ecnet.jp
(有)萩野造園	萩野あさ子	甲府市伊勢四丁目1-12	(055) 235-4045 (055) 231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
株河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津4940-1	(0555) 72-0635 (0555) 72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
(有)窪田造園	窪田 健司	甲斐市中下条1673	(055) 277-2111 (055) 277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木株	河野 富重	甲府市下飯田二丁目5-27	(055) 222-4396 (055) 222-0555	info@kzd.co.jp http://www.kzd.co.jp
甲南緑化株	岩田 俊彦	甲府市高室町721	(055) 241-6136 (055) 241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
株三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山1267-6	(0555) 22-1174 (0555) 22-2219	saigusazouen@r4.dion.ne.jp
三協造園株	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門4796	(055) 272-6000 (055) 272-7777	mail@sankyo-ls.co.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
(有)サンリツ造園土木	土屋 潤一	中央市若宮18-6-106	(055) 273-8644 (055) 273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
(有)敷島緑化土木	石水 理恵	甲斐市島上条1664	(055) 277-2530 (055) 277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
(有)清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目7-21	(055) 233-9748 (055) 233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
株芝 保	藤原 辰男	甲府市貴川本町18-20	(055) 237-7000 (055) 224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
(有)志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目4-4	(055) 253-6983 (055) 253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
(有)須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉729	(055) 265-2452 (055) 265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木株	今村三紀男	甲府市徳行一丁目9-27	(055) 226-4525 (055) 226-4573	czd@maple.ocn.ne.jp
辻緑化土木株	辻 宏三	甲府市朝気三丁目3-16	(055) 233-9545 (055) 233-9542	info@tsuji.ecweb.jp http://www.tsuji.ecweb.jp
株津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町146	(055) 253-2188 (055) 253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
株東勝緑産	内田 正文	甲州市勝沼町等々力1258-2	(0553) 44-2691 (0553) 44-3006	toukatsu@crux.ocn.ne.jp
(有)東香園	名取 満	南アルプス市十日市場1828-1	(055) 282-0970 (055) 282-0952	tou-kou@eps4.comink.ne.jp
株仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原3838	(0551) 25-2348 (0551) 25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設(有)	野尻 積道	葦崎市穂坂町宮久保5122-2	(0551) 22-0615 (0551) 22-2531	h-ncjiri@amber.plala.or.jp
株富士植木山梨支店	宮澤 義明	山梨市上栗原945	(0553) 23-1575 (0553) 23-1550	yamanashi@fujieki.co.jp http://www.fujieki.co.jp
富士観光開発株	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山8545-4	(055) 273-5753 (055) 273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuj-net.co.jp/
富士急建設株	小俣 賢治	富士吉田市新西原五丁目2-1	(0555) 22-7151 (0555) 22-7153	fken@fujikyuu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyuu-kensetsu.co.jp
株富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目1-3	(055) 236-1600 (055) 224-5520	fujit@mx.mesh.ne.jp http://www.fujgreentech.jp/
株明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園968	(055) 282-4128 (055) 282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン株	依田 忠	南巨摩郡増穂町最勝寺1514	(0556) 22-4181 (0556) 22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
(有)山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町3608	(055) 241-2256 (055) 241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
(有)吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡4044-6	(055) 276-0470 (055) 230-6322	Yoshii-zouen@ag.wakwak.com